

ご挨拶

東日本大震災からまもなく5年の月日が経とうとしております。被災された方々に寄り添い、音楽をお届けする「復興コンサート」に、震災の直後から参加してきた仙台フィルを応援するこのコンサートも、5回目を迎えることが出来ました。今年も、クラシック専門インターネットラジオ局「OTTAVA」を中心に、TBSラジオ、TBC東北放送の視聴者、聴取者の皆様のリクエストでプログラムの内容を決めました。まさに全国のクラシックファンの復興への思いが詰まったプログラムです。震災の記憶を忘れることなく、今後の復興に繋げていくためにも、今日の仙台フィルの演奏を心に刻んでお帰り頂ければ幸いです。最後に、本コンサートの趣旨にご賛同して頂いたKDDI株式会社様、そしてKIZUNAシートでご参加頂きました皆様に御礼申し上げますとともに、本格的な復興が一日も早く成されることを心よりお祈り申し上げます。

主催者一同

プロフィール

仙台フィルハーモニー管弦楽団 Sendai Philharmonic Orchestra



1973年創立。日立システムホール仙台などでの定期演奏会(年間9回)をはじめ、東日本エリアを中心に年間約110公演に及び演奏活動を展開。仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバル(通称「せんくら」)への出演など、本拠地である仙台の音楽文化の振興にも大きく貢献している。2011年3月の大震災後は、「音楽の力による復興センター・東北」と協力して「つながれ心 つながれ力」を掲げて、音楽を被災者のもとに届けながら絆を紡ぐ活動も展開している。それらの活動に対し2011年度エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞と渡邊暁雄音楽基金特別支援を受賞。2013年3月には(独法)国際交流基金の依頼によりロシアで被災地の代表として演奏し、震災後に世界から寄せられた支援への感謝の気持ちと、復興に向かう被災地を音楽の力で支え続ける楽団の姿を伝え、その大役を果たした。常任指揮者にバスカルヴェロ、首席客演指揮者に小泉和裕、ミュージック・パートナーに山田和樹が就任している。

【ゲスト】平原 綾香 Ayaka Hirahara



2003年12月にホルストの組曲「惑星」の「木星」に日本語詞をつけた「Jupiter」でデビュー。日本ゴールドディスク大賞特別賞をはじめ、様々な賞を獲得。2014年「オペラ座の怪人」の続編ミュージカル「ラブ・ネバー・ダイ」でクリスティーン・ダーエを演じ、2015年5月「サウンド・オブ・ミュージック」製作50周年記念版で、主人公マリア役を演じたジュリー・アンドリュースの吹き替えを担当。

デビュー以来、シングル31枚、デュエットシングル1枚、カヴァーアルバム、ベスト盤を含む16枚のアルバムを発売。日本武道館公演(2006年)を含む全国ツアーを11度行っている。2016年5月より、全国ツアー「平原綾香 CONCERT TOUR 2016 ~ LOVE ~」がスタート。

【指揮】岩村 力 Chikara Iwamura



早稲田大学理工学部電子通信学科、および桐朋学園大学演奏学科を卒業。マスタープレイヤーズ指揮者コンクール優勝ほか、数多くのコンクールにて入賞。これまでにハンガリー響、N響等内外のオーケストラを指揮し高い評価を得ている。また07年にはアルゲリッチの要請により、イタリア/コルティナにてバドヴァ室内管弦楽団と共演し国際的に活躍。11年以降は国内オーケストラ

の定期演奏会にて、日本人作曲家の作品を取り上げ高い評価を博す。2015年、兵庫県功労者表彰(文化功労)受賞。2000-07年NHK交響楽団アシスタントコンダクター。2010年より兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクター

司会



【OTTAVA】斎藤 茂
Shigeru Saito

北海道札幌市出身。音楽番組のプロデューサーとして、東京のFM放送局勤務後独立。番組・音楽・コンサートなどの制作に携わる。2007年、OTTAVAの開局と同時にミュージック・ディレクター、2014年、OTTAVAゼネラルマネージャーに就任



安東 理紗 (TBC東北放送)
Lisa Ando

本日のプログラム

演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：岩村力

- (献奏)バッハ:アリア(管弦楽組曲第3番ニ長調より/G線上のアリア)
- チャイコフスキー:バレエ組曲「くるみ割り人形」Op.71Aより「花のワルツ」
- LOVE STORY 交響曲第9番 第3楽章/歌:平原綾香 ピアノ:坂本昌之
平原綾香(作詞) ベートーヴェン(作曲) 坂本昌之(オーケストラアレンジ)
- Jupiter/歌:平原綾香 ピアノ:坂本昌之 合唱:宮城県仙台南高等学校音楽部合唱団
吉元由美(作詞) ホルスト(作曲) 杉浦邦弘(オーケストラアレンジ)
- わせねでや/歌:平原綾香 ピアノ:坂本昌之 合唱:宮城県仙台南高等学校音楽部合唱団
内海和江(原詩) 桂島「うた」プロジェクト(作詞) ヒザシ(作曲) 渡辺俊幸(オーケストラアレンジ)
— 休憩 —
- ベートーヴェン:交響曲第6番ヘ長調「田園」Op.68

曲目解説

バッハ アリア

本来は「管弦楽組曲第3番」の2つめの楽章として書かれた。華やかで祝祭的な序曲の次に、ふっとクールダウンする効果を持って書かれたこの曲は、どんなに激しい感情をも収めてくれる、不思議な効果がある。「祈り」の象徴のような作品でもある。

チャイコフスキー

バレエ組曲「くるみ割り人形」Op.71Aより「花のワルツ」

作曲者の書くワルツは、ウィーンともパリとも違う、やはりベテルブルクのワルツである。その本質は幻想性だろう。E.T.A.ホフマンの原作に基づいたこのバレエは、子どもを主人公とする絵本的な世界ではあっても、大人にこそますます大切なものだ。

作詞:平原綾香 作曲:ベートーヴェン

LOVE STORY 交響曲第9番 第3楽章

指揮者佐渡裕さんからの「この曲の主題に歌詞をつけたカヴァー曲を作って欲しい」というリクエストに応じて生まれた楽曲。自身が書いた歌詞で描かれているテーマは永遠の絆。歌詞だけではなく原曲の持つ広い音域を感情豊かに歌う、その歌唱力にも注目したい。

作詞:吉元由美 作曲:G.ホルスト Jupiter

G.ホルストの原曲に日本語の歌詞をのせて歌うことを平原綾香自身が提案し完成させた楽曲。歌詞には自ら書いたフレーズも織り込まれている。新潟県中越地震の際には、被災された方々を勇気づける応援ソングとしてラジオ局に多くのリクエストが寄せられた。

内海和江(原詩) 桂島「うた」プロジェクト(作詞)ヒザシ(作曲) わせねでや

震災直後、桂島に住む女性が島への想いを書き綴った一編の詩をTBCテレビ「ウォッチン!みやぎ」で取り上げ話題に。「ザ・キャプテンズ」の元ギタリスト「ヒザシ」氏が詩に曲をつけた。現在も各地で歌われる復興支援ソング。

ベートーヴェン 交響曲第6番ヘ長調「田園」op.68

この曲で作曲者が描こうとしたものは、ただの自然の風景ではなく、むしろ「人間の感情」である。小川のせせらぎも農民の踊りも嵐も、すべてが内面の反映だ。そして最後にやってくる第5楽章の「感謝」こそが、この曲の精神的クライマックスといえる。

KIZUNAシート メッセージ

KIZUNAシートとは、遠方にお住まいなど、さまざまな事情から「みんなで行く復興コンサート」にお越し頂くことが難しい方や、新しい形の復興支援をお考えの方に向けた、コンサートの参加方法です。こちらのお席には宮城県内にお住まいの東日本大震災で被災された方々をご招待致しました。そんなKIZUNAシートをご購入頂いた方からお寄せいただいたメッセージをご紹介します。

- ★九州在住なので遠距離でなかなか行けないので、代わりにどうぞたくさん楽しんでいただければと思います。
- ★楽しんでいただければ幸いです。遠くから真の復興と皆様の日々の平安をお祈りしています。
- ★今年は体調が悪く伺えません。どうぞコンサートを楽しんでください。
- ★行かれなくて残念ですが現地の方々が楽しめるように願っております。
- ★毎年「今年こそ!」と思いつつ、まだ一度も行けてませんが、今年もひと席だけですがKIZUNAシートで参加させていただきます。遠く離れた地の私たちも、決して震災を忘れていません。今日の音楽が、少しでも前へ進むための力になりますように。私は指をくわえて東北に思いをはせております。
- ★このコンサートが皆様への心の安らぎと、そして明日への希望へとつながっていくことを願っております。
- ★気持ちがほかほかしてくるコンサートです。どうぞ楽しんでくださいね。
- ★ようこそ復興コンサートへ。どうぞゆっくり楽しんでいってくださいね。

KIZUNAシートをご購入頂いた、TBSホールディングスCSR事業部他たくさんの皆様に御礼申し上げます。

OTTAVA オッターヴァ

24時間お聴きいただけるクラシック専門のインターネットラジオ局。現在、リスナーは全世界で100万人以上。パソコンやスマートフォン、タブレットでいつでも、どこでも、クラシック音楽がお楽しみいただけます。繊細な美意識を持つ日本人に響くクラシックを選び、楽章単位やサビでオンエア。みなさまからいただく楽曲のリクエストにお応えしたり、クラシックの最新情報をお届けしています。ご自宅で、オフィスで、通勤通学のお供に…クラシックを生活の中に気軽に楽しく取り入れませんか?

OTTAVAホームページ→<http://ottava.jp>
facebook→<https://www.facebook.com/ottava.jp>
Twitter→[#ottava](https://twitter.com/OTTAVA)